

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

令和6年度 グループホームせせらぎ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝、職員は理念の唱和をしている。意識につなげ実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	せせらぎ新聞を年に数回発行することは続けているが、自治会の方々との交流は難しい。たまには農家さんが直接食材を届けてくださり、肉や魚も地域の商店から購入するなど、地域とのつながりは築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的にせせらぎ新聞による情報発信に努めており、定着してきた様子がうかがえる。 ・日常的な交流ができるよう、地域とのつながりを築いていくことを期待する。 		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議では、サービスの内容を報告し意見や助言を頂いている。そこで得たことはサービスの向上に活かしている。ヒヤリ・ハットなどは以前より減っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では普段の施設での様子をはじめとした運営状況について説明があり、意見が交わされている。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議では、市の担当者も出席してもらい、実情や、取り組みを報告し話し合いをしている。協力が得られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会を通して、普段の様子を伝えてもらっている。 ・市の担当者としてできる協力はしていきたい。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束をしないケアを目標にしつつ、利用者の安全を優先と判断場合は離床センサーを活用している。家族に説明をして同意を得ている。定期的に評価をして適切に使用していることなど運営推進会議でも報告している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全を優先した離床センサーの活用したケアの取り組みを運営推進会議で報告を受けた。 ・毎回運営推進会議でも状況の説明があり、施設側として、考えながら取り組んでいる様子が伝わっている。 	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	離床センサー及び介護服など、適切に活用できているか、評価・見直しを行う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修を行い、特にグレーゾーンの部分を自己チェックし、皆で話し合いをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りから様々なケースでの話し合いが内部で行われている。 ・外部での研修会も活用し、新たな観点が取り入れられることを期待する。 	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は対象になる方がいないが、対象となる方でも入居希望があれば受け入れことを検討し、支援していきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には契約書の内容を説明し、また、介護保険や法人の契約に変更があれば、家族に説明をして理解を得ている。書面も残している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では運営側の方からも、家族からの意見や要望を引き出せるように問いかけて、話す機会を作っている。また、家族アンケートも運営推進会議のメンバーや職員にも公表して共有している。	・運営推進会議に利用者家族代表も参加し意見交換ができている。 ・意見要望を話す機会を設けている。 ・家族アンケートも実施し意見の共有や運営の参考にしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議や内部研修の中で職員からの意見や提案を受けいれている。内容によっては反映が難しいこともある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は会議録などからも運営状況を把握している。週に1度は訪れて、勤務状況などを見て職員の意見や要望などに耳を傾けている。	・限られた職員中で努力されている ・意見・要望を聞いてもらっている。 ・伝えた意見・要望はどうなったのかを伺いたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見や要望については、既存のやり方を求められることもある。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者の勧めに関わらず、機会があれば外での研修にも積極的に参加している。内部研修は計画を立てて行っている。	・包括の認知症カフェへ参加される方もおり、地域参加活動意欲伺えます。 ・計画を実施に向けて日程調整を進めながら努力している。 ・内部研修の実施の他に、外部の研修にも積極的に参加されているのは非常に良いことだと感じる。代表者の理解もえられていると推察する。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者が開催する研修会に参加し、交流している。同業者の活動に刺激を受けて、自分たちの取り組みに活かせるよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要介護度によっては、介護をされる側に置かれることもある。される側であっても言葉を交わし「ありがとう」と感謝の気持ちを持って、生活を共にする関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会を可能にしていることで、時折懐かしい方が会いに来てくださり、親せきの家に家族と訪れることも支援している。	・面会の機会を設け、利用者の馴染みの人とのつながりが継続できるように支援されている。感染対策など気を遣う部分もあるかと思われるが継続を期待する。		
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望や意向に沿えるように、努力しているが、人員の都合によりすべてに対応することは難しい。希望を伝えられない方にも、一日の過ごし方に興味をほらい取り組んでいる。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に出向いてもらい話し合いをする機会も設けることもある。面会などで会えた時は本人も交えて話すことも機会と捉えている。現状に即した介護計画を作成できるように努めている。	・改めて場を設けるのではなく、ちょっとした機会にでも利用者やその家族の思いをくみ取ろうとしている様子が伺える。 ・ちょっとした機会も無駄なく活用している一方、そうした機会がない利用者には何かしらの機会を設け介護計画に反映できるようにすることを期待する。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録を個別に記入し、記録や申し送り等で情報を共有している。問題や気づきもその都度、報告しあい職員間もコミュニケーションを図りケアに取り組んでいる。	・自己評価からは十分に取組めていることがうかがえる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、 既存のサービスに捉われない、 柔軟な支援やサービスの多機 能化に取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化に伴い家族の都合が合わ ない時は、受診の対応にも努めてい る。外泊や外食など家族からの誘いも 柔軟に対応し支援している。	・施設では柔軟に対応されえている反 面、現場での負担が過大になって いるようであれば人員配置について 事業者と協議をされることも考えら れる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている 地域資源を把握し、本人が心 身の力を発揮しながら安全で 豊かな暮らしを楽しむことがで きるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護相談員の派遣を再開し受け入 れ、外部の方と会話する機会を作っ ている。美容室への送迎や訪問マッ サージが受けられるような支援など もしている。アマチュア歌手を呼んで懐か しい歌を一緒に口ずさみ、楽しい時間 を過ごせるよう支援している。	・地域の関わりが少しずつ再開され、 様々な方たちとの交流の機会が持 たれるようになってきている。		地域包括支援センターが開催する、認知症 カフェなどにも利用者様と参加してみる。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希 望を大切に、納得が得られた かかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受 けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と本人の意向によりかかりつけ医 に継続して診てもらえるように支援し ている。事情により、通院が困難なっ てきても、適切に医療が受けられるよ うに訪問診療を提案させて頂いてい る。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して 治療できるように、また、でき るだけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相 談に努めている。あるいは、そ うした場合に備えて病院関係者 との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態によって、家族及び医 療機関へ連絡し治療が受けられるよ うに支援している。退院の際は病院の 関係者と相談し情報を職員間でも共 有し備えている。	・状態によって治療・入院ができるよ うに支援・連携が図れている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり 方について、早い段階から本 人・家族等と話し合いを行い、 事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域 の関係者と共にチームで支援 に取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態の変化に応じて、家族及び主治 医と話し合い、医療が出来ない範囲、 介護でできる限りを説明し、看取り介 護の同意を得ている。	・家族・医療機関と情報を共有し、支 援に取り組まれている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に 備えて、全ての職員は応急手 当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けてい る	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何度か利用者の急変には直面するこ とがあり、救急隊の指示で心臓マッ サージをすることもあった。皆が躊躇なく 対応できるように訓練している。ま た、のどに異物が詰まったときの対処 方法の勉強会を行っている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練は定期的に行っている。歩行ができない利用者を避難させる方法については、いつも課題が残されるが、方法を職員で話し合い、訓練している。食品の備蓄、停電、断水については、法人が備えている。地域の協力体制は自治会長を通して協力体制を築いている。	・地域ごとの課題はあると思いますが、可能な範囲での対応できていると思います。 ・定期的に防災訓練に取り組まれている。 ・防災訓練での気づきや反省点を次の機械にも取り入れ改善に取り組んでいる様子が見えてきている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとり丁寧な言葉使いを心がけている。	・丁寧な言葉かけに努めていると思われる。 ・共有スペースで声をかける際などプライバシーを損ねないように配慮されていることがあればありがたい。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースでは皆と過ごす時間も長い。突然の出来事では大声で危険を促す言葉も飛び交うこともあるが、穏やかに生活できるように心がけている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の過ごし方は、本人の意向や一人ひとりの力に合わせている毎日、同じことをしていても、その方のペースの把握となっている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	配食や弁当は利用せず、手作りで提供している。利用者は状態の低下と共に一緒に何かをやるのが難しくなっている。利用者と一緒に食べることはコロナ以降できないが、行事や誕生日会には見ても楽しめる特別メニューを提供し、食事が楽しいものであるように支援している。	・毎回、季節に合わせて工夫をこらしていると感じます。行事食も美味しくそれで食欲をそそりますね。 ・行事食など工夫を凝らし、利用者を楽しませようと取り組んでいる様子が見えてくる。 ・状態の変化で一緒に準備・片付けでできることが少なくなっているとは思っているが、できることがある方には一部でもかかわってもらうことで、自分の持つ役割によってやりがいを感じることができるのではないかと思います。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理栄養士の献立を調理しバランスの取れた食事を提供している。健康チェック表を活用し食べられる量、水分の量も一人ひとり把握し、形態も工夫し支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分のことができる人、そうでない人、一人ひとりの力に応じて歯磨きの声掛けや手伝いを行って衛生を保てるように心がけている。	・自己評価の記述から十分にできているように感じる。自己評価は「ほぼできている」とどめているのはどうしてか。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立している方でも、口腔ケア後の確認と仕上げ磨きを介助できるようにしていきたい
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	手すりに掴まって立つことが可能ならば、できる限りトイレで排泄ができるように支援している。トイレが頻回な方でもその都度誘導し介助している。健康チェック表を活用し排泄のパターンを把握し、夜間の排泄介助にも役立てている。	個々に応じた支援に取り組まれている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者にとって入浴は楽しみのひとつだが、個人の希望に沿う入浴はできていない。清潔が保てるよう、回数に偏りがないように均一にしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて休息等を行ない、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一晩中寝ないで過ごされる方も個人によって睡眠は様々で、習慣も影響しているように思われる。睡眠薬など主治医の処方されている方は適切な時間に提供している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の情報は職員がいつでも確認ができるように、記録ファイルに入れてある。薬の落下が目立つこともあったが、利用者の服薬の仕方に合わせ慎重に介助している。利用者の状態を主治医に報告し服薬の支援をしている。	・利用者の状態に合わせ、工夫し服薬介助にあたっている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居宅療養管理指導の薬剤師から、薬について情報を得て、効能や副作用など理解し支援につなげていきたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとり楽しみや力は違うが、個人に合わせた過ごし方を提供している。塗り絵が好きの方、点つなぎが好きな方、折鶴が得意な方一人ひとりの力に応じている。	・それぞれの好む楽しみごと、気分転換の方法を提供・支援している。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出できる方は限られているが、家族の希望や本人の希望があれば外食や外泊も可能にしている。季節の花を観に誘い出かけることもあるが、年々、行ける人数が減っている。	・利用者の状態に応じた外出の支援をされている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し、使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がお金を使う機会はなく、必要なものの要望があれば職員が購入している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの期間は面会を制限していたため、電話でのやり取りなどもあったが、5類以降は面会や外出の機会も増えている。電話の要望があればかけて話ができるように支援している。携帯電話を持っている人は、自由に使用している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの居室は車イスでも十分移動できる広さがある。居室見学の方がみえた時も真っ先に「広いですね」という印象を持たれることも多い。月の担当者は共用の空間も季節感を感じられる壁画や飾りもの等、工夫を凝らしている。	・居心地のいい空間づくりができている。 ・共有スペースは開放的で整理・整頓されている。 ・季節に合わせた飾りつけや、作品展示があり居心地のいい空間になるように配慮されている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、自分の思い、意向に沿った暮らしができているかは、集団生活では難しいこともあるが、意向に沿った暮らしができるように努めている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴や暮らし方は自分から話ことで知ることができる。家族からの情報をもとに、ケアに活かし支援を受けることができています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面ではバイタルなど数字に頼ることばかりではなく、毎日接していることで体調の変化には気づくことができる。状態によっては速やかに医療につなげ対応していることで支援を受けることができています。安全面でも転倒の危険やトイレでの失敗を防ぐため離床センサーを設置し、予防することでより良いケアを受けることができています。	・日々接することで気づける変化に合わせた支援ができています。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人の心身の状態やペースを把握し習慣に合った生活を支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には、家族の写真や記念の賞状を飾り大切にしている。テレビ鑑賞やラジオを聴いて、一人の時間もそれぞれ好きなように過ごすことができています。	・馴染みのものを持ち込むことができています。 ・一人で過ごす時間も思い思いの過ごし方ができています。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	文化祭の参加は本人のやりがいにもつながり、作品を観に外出する機会にもなっている。参加することで関係者との関わりも、利用者の支援につながっている。	・文化祭の参加など目標を持った催事に参加することなどにより、生き生きと過ごすことができています。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割や楽しみごとを持つことはできる人・わかる人という枠になってしまいがちになる。そうでない方もその方に合った支援で一緒に生活できている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている	職員はレクリエーションや行事など活動の場面を工夫し、提供している。一緒に歌を歌う等しながら、体操をしていきいきと過ごすことができています。	・楽しく生き生きと活動できる場面を提供しようと心がけている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている	

			C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と、多少なりとも関わりあいながら、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自分なりに、外部と交流する機会は少ないが、懐かしい方が面会に訪れると涙ぐむ場面もある。ごく一部の方は、親せきの家を訪ね外出することもある。ホームに入ってしまうと自分なりに関わることは難しい。	・施設での生活が中心なので、自宅で過ごしていたのと同じように交流することは難しい。 ・施設で生活しているなりに近隣・地域の人々との関わり・交流がもてればいい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人はホームでの生活の中で、笑顔が見られる姿は、ここで生活することを受け入れ、職員との信頼関係を築き安心した生活を送ることができている。	・施設長を中心として、GH の運営が進められている。また、定期的に利用者が施設の中でどのような生活をしているか「せせらぎ新聞」を通して地域に発信していることで、せせらぎを地域に知ってもらうことが出来ている。 ・ホームでの生活が続くことで職員との信頼関係も生まれ、安心できる生活につながっていると感じる。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	せせらぎ新聞の発行を継続していけるようにしていきたい。